

山形大学 地域教育文化学部

地域力の形成に向けた人間支援と地域支援の創造



武道を通し、 日本文化を発信する。

【伝統スポーツ】 現在、スポーツの世界では、地域固有の宗教・慣習・風土から生まれた伝統スポーツが注目されています。武道は、日本古来の伝統スポーツであり、その独自の文化性は海外でも関心が高いです。私は、2001年から剣道を通じ、北欧・台湾を中心に調査・交流をおこなっています。

【心身一如】 武道は、仏教の修行の考え方に強く影響を受けています。修行とは、体(身)に負荷をかけることにより、心の向上を期するものです。これは、心と体(身)は不離なもので、一つの統合体であるという心身一如の考え方であり、通念に比べ、体(身)を重視する考えといえます。この心身のとらえ方が武道の特性といえるでしょう。

【身体で覚える】 武道では、心身一如のとらえ方から、身体動作を規定し、鋳型化し、その単純動作の反復によって、「無心」で「わざ」ができるようになることを期する「型」の運動学習法が定着しました。また、「わざ」の習得について、主観的で曖昧な運動感覚(「気」、「間」、「腹」、「懸待」、「後の先」など)を身体の実践を通して自得していくという考え方が強調されます。

【道】 武道では、「事理一致」(事＝運動＝身、理＝理論・法則＝心)を目指し、結果よりも過程が重視され、主体的に、無私的に、「道のために道をおこなう」という「道」の考え方が尊重されます。この考え方は、新しいスポーツ実践の考え方として海外で注目されています。

山形大学 教授

たけだりゅういち

竹田 隆一



留学生交流支援制度(日本学生支援機構)に採択された「バルト文化と日本文化の相互理解を深化させる総合的フィールドプログラム」での参加者とタリン大学生との交流(タリン大学)



留学生交流支援制度(日本学生支援機構)に採択された「日本と台湾学生のスポーツを通じた交流プログラム」での「日本・台湾のスポーツ事情」発表会(台湾師範大学)



剣道世界選手権日本大会に参加したラトビアチームとの合同稽古会(山形大学)